

10 月 14 日 : マクロデータに注意しながらも、VN 指数は今週も上昇か

VN 指数は 5 週連続で下落しており、先週も落ち着かない値動きとなったが、初めての週間で上昇して取引を終えた。しかし、為替、金利が落ち着くまで投資家はマクロデータに注意を払うのが良いと専門家は話す。

ホーチミン市場の VN 指数は火曜日まで弱い値動きだったが、その後上昇に転じ、1,061.85 ポイントで取引を終えた。ハノイ市場の HNX 指数は 227.89 ポイントで取引を終えた。

週間では VN 指数が 2.5% の上昇、HNX 指数が 0.8% の上昇となった。

ホーチミン市場の売買代金は先週から 2.8% 増加し、約 62 兆 8,000 億ドン (26 億米ドル) となった。売買高も先週から 3.2% 増加し、29 億株を超えた。

一方でハノイ市場の売買代金は先週から 11% 減少、売買高も 3.5% 減少した。

外国人投資家は再びマーケットで買い越した。買い越し額は合わせて 2 兆 8,500 億ドンで、ホアファットグループ (HPG) 1,200 万株、SSI 証券 (SSI) 930 万株、サイゴンハノイ銀行 (SHB) 800 万株の順が多かった。

「9 月初めに米連邦準備制度理事会は、現在の予想以上に高い消費者物価指数 (CPI) とともにインフレ率の高まりに対して懸念を示した。世界のマーケットは来月、連邦制度理事会による 75 ベーシスポイントの利上げをすると確信している」 (ベトコムバンク証券 (VCBS))

「結果として金利はより高まり、株式を含むリスク資産を見直す流れが広がるだろう」 (同証券会社)

「そのため投資家は、この時期に将来を見据えた投資戦略を優先するのが良い」 (同証券会社)

サイゴンハノイ証券は 10 月 11 日に発行したレポートで「5 週連続の下落となった後、マーケットは強力な心理的節目である 1,000 ポイントの下値抵抗線を維持することに成功した。このマーケットの回復は、投資家心理の改善に貢献した」と話す。

「出来高移動平均線は 20 週移動平均線付近である。これは下値拾いの買いが集まっていることを指し、投資資金がマーケットに再び集まっていることを示している」（同証券会社）

「株式の決済期間の短縮化が発表されて以降、短期的な大幅下落は終わりを迎え、VN 指数では新たに 1,000~1,030 ポイントの下値抵抗線が生まれた」（同証券会社）

しかし、中期的なトレンドはまだ改善していないとサイゴンハノイ証券は話す。

「VN 指数は今週、引き続き上値抵抗線の上を目指すと予想する。1,100 ポイント付近の上値抵抗線付近で短期的な売りが強まる時、投資家はポートフォリオから割高な銘柄を減らし、ポートフォリオのバランスを保つのが良いだろう」（同証券会社）

「投資家は適正と考えられる株式比率を維持するのが良いだろう」（同証券会社）

「（VN 指数が）3 日続伸した後、心理的節目である 1,000 ポイントが短期的な底値として意識され、マーケットは落ち着きを取り戻している」（MB 証券）

現在の上昇基調のまま、もし VN 指数がストップ高である 1,073 ポイントを上抜いてくるのであれば、マーケットでは回復トレンドが続いていく可能性がある。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。